



# 同志社

東京  
ジ  
ャ  
ー  
ナ  
ル  
NO.99

同志社  
東京校友会

DOSHISHA  
TOKYO JOURNAL  
2015.APR NO.99

## 【今号の記事】

- ・2014年度定期総会・評議員会レポート
- ・「新ビジネス」フォーラム報告
- ・新島襄「終焉の地」/「生誕の地」レポート
- ・東京校友会「女子部」発足しました
- ・2015「春の集い」告知
- ・片桐家同志社5代記
- ・連載コラム「今出川四季」
- ・校友訪問(栗田千寿氏)
- ・同志社スポーツ
- ・おたかさんとわたし
- ・企業内「同志社」(JA全農同志社会)
- ・春の集い大名刺交換会告知
- ・同志社ファンを増やす会告知
- ・すみれ亭

写真：夢告館 同志社大学提供

# 2014年度「定時総会・評議員会」開催!



同志社大学東京オフィスにおいて2014年度「定時総会評議員会」が2月26日、開催され、役員改選の議案も含めて上程議案を審議し、すべて承認されました。



児玉正之会長

## 2014年活動報告

(一)群れる機会(イベント  
催行・年次会・大学行事)に  
積極的に取り組み、新規会員  
の増強と名簿の拡充を図り、  
校友間の交流を深める。

(1)群れる機会  
(イベント催行)への  
積極的取り組み

①「第16回春の集い」5月  
25日(日)ロイヤルパーク・ホ  
テルにて開催され、当番年次  
(45年次、55年次)による企画・  
運営で536名の参加で盛大  
に実施された。

②「特別協力会員の集い」  
11月18日(火)今回は同志社大  
学東京オフィスと同ビル内割  
烹「ちりり」で実施し、総計68  
名の参加であった。

(ゲスト講演は株式会社社資  
生堂 代表取締役執行役員社

長 魚谷雅彦氏(昭和52年文  
卒、東京校友会副会長)

③特別協力会員対象 大学  
との交流プログラム、「東京ク  
ロストーク」8月7日(木)東京  
オフィス担当村山副学長を講  
師にお招きし、東京オフィス  
で実施され、17名の参加をみ  
た。その後副学長を囲んだ懇  
親会で意見交換が行われた。

④首都圏ビジネスパートナー  
のコミュニティとして現役世  
代の校友が幅広く集える企画  
「マーケティング研究会」及び  
「洛紫会」が6月4日(水)、7月  
25日(金)、8月28日(木)、12月5日  
(金)の4回実施され、おのおの  
37名、25名、27名、81名の参加  
であった。

⑤「生誕の地碑前祭、午餐会」  
2014年2月12日(水)例年  
通り、学校関係にも呼びかけ、  
多数の校友の参加のもと実施  
された。また、地域の千代田区  
役所、小、中学校にも呼びか  
け、今年度はその中で、神田錦  
町町会長が参加され、地域ぐ  
るみのイベントに広げる道筋  
が出来た。

⑥新卒者歓迎イベントは12  
月5日(金)「新人歓迎&忘年  
会」として実施し、上記の通り  
全体では81名の参加であった  
が、新卒者は8名であった。

⑦「同志社校友会大懇親会」  
は11月8日(土)第2回が実施  
され、東京校友会でもチケッ  
ト販売に協力し、57枚の取次  
販売であった。

(2)年次会の拡充

①49年会は9月7日(日)に発  
足会が実施され25名の参加が  
あり、その後忘年会も実施さ  
れ、活動体制に入った。

②52年会も9月6日(土)に発  
足会が実施され22名の参加が  
あり、こちらも1月24日に新  
年会も実施し、活動体制は出  
来上がった。

③56年会については2月4  
日(水)の春の集い実行委員会か  
ら企画され、3月23日(月)に発足  
会を実施する予定。年次会が活  
発になる事を期待したい。

④平成3年会についても、  
2月4日(水)の春の集い実行委  
員会から企画し、3月19日(木)  
に発足会を実施する予定。同  
じく、年次会が活発化する事  
を期待したい。

(3)名簿の拡充

1.今年度は特別協力会員  
開拓の為、日経テレコンから  
関東地区の卒業者を抽出し、  
約400名の新規登録者を  
得た。また諸団体からは樹徳  
会東京支部より名簿のご提  
供を受け、こちらからも約  
400名の新規登録者を得  
る事が出来た。

2.学校(行事等)への積極  
的協力と支援活動に取り組み  
①同志社大学主催行事には  
積極的に協力する。

同志社講座in東京等大学主  
催行事には東京ジャーナル、H  
P、FB等、東京校友会広報を

活用して、積極的に協力した。

②地域交流会

2015年度「生誕の地碑  
前祭」に、千代田区観光協会、  
学士会館、神田錦町三丁目町  
会からの後援を得て、碑前祭、  
記念講演会を実施する事と  
なった。

③母校の東日本震災被災  
学生への支援(義援金)の  
継続。

校友会諸行事、また年次会  
総会等でも義援金、同志社  
クッキーの販売の協力を求  
め、昨年末に学校当局に合計  
563,581円の義援金を  
贈呈する事が出来た。

④同志社大学現役諸団体へ  
の支援。

スポーツユニオン総会時に  
22団体220,000円の支  
援を実施した。

なお、「同志社東京ジャーナ  
ル」、HPによる広報協力も実  
施した。

3.財政基盤である会員数  
増強

(実績)(会費納入者ベース)  
・通信協力費会員1,244名  
(昨年度1,198名)比+46  
名(目標:1,300名)比▲  
56名

・特別協力会員142名(昨年  
度:152名)比▲10名・目  
標:160名比▲18名  
合計1,386名、+36名  
目標比▲74名

昨年度比は+36名で  
あったが、計画には▲74名

# 2014年度会計報告書

## <収入の部>

科目	13年度実績	14年度予算	14年度実績	備考
前期繰越金	17,367,256	21,276,910	21,276,910	
(事業収入)	8,652,000	8,350,000	8,536,000	
春の集い会費	4,653,000	4,000,000	4,503,000	参加数予算550名→実績536名
春の集い広告収入	3,145,000	3,400,000	3,318,000	
特別協力会員の集い	695,000	800,000	537,000	参加数予算80名→実績68名
碑前祭(午餐会)会費	159,000	150,000	178,000	参加数予算35名→実績53名
キャンパスフェスタ (広報収入)	0	0	0	
東京ジャーナル広告収入	1,810,000	1,680,000	1,670,000	@10万円*4社*4回/年
ホームページ広告収入 (基礎収入)	110,000	80,000	70,000	@10000/社
通信協力費会員会費	7,043,722	7,003,000	7,338,001	
特別協力費会員会費	3,653,000	3,600,000	3,612,000	予算1200名→実績1244名
特別協力会員会費	3,088,000	3,000,000	2,860,000	予算150名→実績143名
校友会支部助成金	300,000	400,000	862,680	支部助成金(2年分)他
その他収入	2,722	3,000	3,321	預金利息他
小計	17,505,722	17,033,000	17,544,001	
合計	34,872,978	38,309,910	38,820,911	

## <支出の部>

科目	13年度実績	14年度予算	14年度実績	備考
(事業費用)	8,505,351	8,400,000	8,396,494	
春の集い諸費用	7,704,593	7,400,000	7,738,364	「集い」収支 +82,636円
特別協力会員の集い諸費用	600,133	800,000	464,782	「集い」収支 +72,218円
碑前祭(午餐会)	200,625	200,000	193,348	収支 -15,348円
キャンパスフェスタ (広報費用)	0	0	0	
東京ジャーナル発行配布費	1,434,943	1,960,000	1,628,845	
ホームページ維持管理費	1,249,005	1,600,000	1,242,615	4回発行
(政策経費)	185,938	360,000	386,230	新サーバー移行
特別協力会員維持開拓費	637,996	1,400,000	489,314	
年次会等諸団体会員開拓費	31,305	300,000	126,114	募集文書発送送料
同志社大学現役諸団体交流費	241,001	300,000	96,980	49年会、52年会発足56年会準備他
現役世代会員開拓費 (事務経費)	230,000	300,000	220,000	スポーツユニオン関係
通信費	135,690	500,000	46,220	マーケティング研究会、新人歓迎会
事務用品費・備品費	3,017,778	4,273,000	3,425,926	
会議費	217,230	300,000	278,338	会費請求書等郵送料他
交際費	125,954	333,000	300,555	カード処理端末、用紙、インク代等
業務委託費	471,357	500,000	498,563	総会、幹事会、常任幹事会他
労務費	220,000	240,000	236,200	年次会、他支部総会ご祝儀等
交通費	577,290	600,000	484,943	業務委託費(名簿管理、会計事務所等)
家賃付帯経費	250,680	1,000,000	420,000	事務所当番感謝金(@800/時)
雑費	872,364	600,000	585,278	
(予備費：人材派遣費)	282,903	300,000	269,267	振込み料他
合計	0	1,000,000	471,420	デスクカット費用、倉庫料等
差引経常収支	13,596,068	17,033,000	14,411,999	7月より女性1名(月水金)
特別支出(新事務所設備費)	3,909,654	0	3,132,002	
総合収支	0	1,000,000	480,130	パソコン、プリンター等
次期繰越金	3,909,654	-1,000,000	2,651,872	
合計	21,276,910	20,276,910	23,928,782	
東日本大震災被災学生支援募金	34,872,978	38,309,910	38,820,911	
(事務所移転開設準備金へ 大震災募金関係(上記に含みます))	1,000,000			
東日本大震災被災学生支援募金	931,055		563,581	同志社大学に振込(12月26日)

## 財産目録(2014年12月31日現在)

資産	(2012/12/31)	(2013/12/31)	(2014/12/31)	(対'13年増減)
現金	42,321	33,803	56,854	23,051
普通預金：みずほ銀行(渋谷中央)	775,770	1,394,929	1,525,236	130,307
普通預金：みずほ銀行(銀座)	3,301,637	2,466,760	4,914,042	2,447,282
定期預金：みずほ銀行(渋谷中央)	10,000,000	10,000,000	10,000,000	0
郵便貯金	17,094	3,000,128	2,520,678	-479,450
郵便振替残高	3,230,434	4,381,290	4,911,972	530,682
資産合計	17,367,256	21,276,910	23,928,782	2,651,872
負債	なし			

に終わった。  
 ・通信協力費会員 新規入会  
 195名 退会47名  
 ・特別協力会員 新規入会  
 18名 退会10名、未入金  
 18名  
 4：実務遂行体制の拡充  
 (1)広報体制の強化

① 機関紙「同志社東京  
 ジャーナル」については、編集  
 人が変更となり、新たな体制  
 で常任幹事を中心に編集員会  
 を結成し更なる充実と編集体  
 制の強化を図った。  
 ②HPについてはサーバー  
 を変更し、新たな体制で内容

の充実を図った。  
 (2)新事務局体制の確立と  
 事務の効率化  
 ①事務の効率運営  
 本籍は従来通り、デスクカット  
 と定め、同志社校友会東京オ  
 フィスにて主要業務の一元化  
 を実施してきた。

②事務局体制の確立  
 同志社校友会東京オフィスの  
 事務所運営については派遣  
 社員1名を採用し、原則週三  
 日(月・水・金)時間(10時～  
 16時)を開室日、時間とし、当  
 番常任幹事も定め、対応した。  
 文責／北濃登美男(昭41年・法)

DAIKIN

世界中でつくります。なかつた空気。できなかつた空気。

国が違えば、暮らしが違えば、欲しい空気も違はず。  
 ダイキンは最新の空調技術で、その全てに応えたい。



ダイキン工業株式会社

# 2015年度の活動方針・活動計画

「会員相互の親睦をはかり、交誼を厚くするとともに、  
学校法人同志社との関係を緊密に同志社諸学校の発展を支援する」

## 目標・方針（重点施策）

（一）群れる機会（イベント催行・年次会・大学行事）に積極的に取り組み、新規会員の増強と、名簿の拡充を図り校友間の交流を深める。

### （一）イベント催行

① 第一七回春の集い  
5月24日(日)ロイヤルパーク・ホテルにて開催。  
今年度の当番年次46年、56年及び平成3年次による企画・運営とする。

・平成25年・26年・27年3月卒業者の会費は無料とする。（若年層動員対策）

・開始前にビジネスパーソンの「大名刺交換会」を実施。

### ② 特別協力会員の集い

日時：11月中旬  
場所：同志社大学東京オフィス  
多くの会員の動員を図る。

### ③ 東京クロストーク

（特別協力会員と大学との交流プログラム）

大学の新たなアクションプランをテーマに企画する。

### ④ ビジネスパーソン対象活動

本年よりビジネスパーソンを対象とした各種の会の総称を「洛紫会」に統合する。

マーケティング研究会、ビッグネームの校友の講演会と懇親会、単なる名刺交換会と懇親会、女子

会等を年間六回以上開催し首都圏ビジネスパーソンのコミュニティとしたい。

### ⑤ 生誕の地碑前祭

2月12日(木)碑前祭のあと記念講演会を実施する。今回より地元の千代田区神田錦町三丁目町会・千代田区観光協会・学士会館の後援を頂けるとなった。

また、今年から同志社同窓会東京支部と共催することとなったが、その他のイベントでも連携を強化して行きたい。

### ⑥ 新卒者歓迎イベント

常に若い校友層に校友会参加を呼びかけて行く。

### ⑦ 同志社校友会大懇親会

今年も積極的に協力賛同する。

### ⑧ 同志社東京校友会ゴルフ大会

（団体戦・個人戦）の実施時期…10月頃を想定

### ⑨ 登録諸団体とのタイアップ

PRを強化し、会員がさまざまな活動に参加出来る機会を提供する体制を作る。

\* 「東京歩こう会」

\* 「東京囲碁会」

\* 「東京新島研究会」

\* 「同志社混声合唱団（東京V）」

\* 「東京クローバークラブ」等

### （二）年次会の拡充

56年会は3月23日(用)に、平成3年会は3月19日(木)に発足を実施す

る。57年次は「春の集い」に合わせた発足を検討中。また、その他新規結成の年次が出現すれば、従来通り名簿の提供等の支援を行う。

### （三）企業内クローバー会

連携と新規結成支援を行う。

### （四）名簿の拡充

諸団体、年次会の協力を得て、名簿の拡充に取り組む。

### （一）学校への積極的協力と支援活動に取り組む

① 同志社大学主催行事に積極的に協力する  
東京ジャーナル、HP、FB等、東京校友会広報を活用。

② 同志社大学東京産官学連携オフィスへの後援  
活動に積極的に協力する。

③ 母校の東日本大震災被災学生への支援の継続  
・校友会諸行事、年次会総会等で義援金、同志社クッキー販売への協力を求める。

・同志社クッキーの販売  
同志社生協のキャンパス内店舗での常時販売（二個に付100円の寄付協力）が継続。

### ④ 同志社大学現役諸団体支援

関東地区での全国大会出場時に、要請があれば積極的に支援協力する。

「同志社東京ジャーナル」及びHPによる広報も協力する。

### （二）財政基盤である会員数増強（目標（会費納入者）

① 通信協力費会員  
2015年末／1300名

② 特別協力会員  
2015年末／1244名

③ 合計  
2015年末／1450名

2014年末／142名

2014年末／1386名

### 【施策】

① 「春の集い」で150名の新規会員を目標。

② 年次会・諸団体代表者、評議員への紹介協力要請を行う。

③ HP、FBにより校友会活動をPRし会員増強を図る。

④ 特別協力会員の増強は日経テレコン活用による候補選別と特別協力会員の口コミ紹介等通年の勧誘活動を展開する。

### （四）実務遂行体制の拡充

① 広報体制の強化  
さらにインターネット活用を強化してゆく。

①新HPの作成充実

4月からHP画面を一新する。

②「同志社東京ジャーナル」の充実。

100号から誌面を一新し(編集・印刷業者も変更)魅力ある誌面作りを目指す。

③新鮮な情報発信体制を作る。

(2)新事務局体制の確立と事務の効率化

①常任幹事の拡充。

実務者層の増強を推進する。

②事務局体制の確立

現在の体制の拡充を図る。

(3)関東・甲信ブロックの各支部との連携強化

ブロック支部長会議を年二回程度開催し連携強化を図る。

【会則の一部改正】

以下の通り改正する。

【役員の種類と数】

第24条本会に次の役員を置く

会長 1名

副会長 5名

代表幹事 1名

常任幹事25名以内(現行15名以内)

幹事70名以内(代表幹事、常任幹事を含む)(現行60名以内)

会計監事 2名

(改正の趣旨)

常任幹事の増員については活動の種類増加と担当者不

足の解消の為。

幹事の増員については登録団体の増加の為。

【役員改選】

今回役員改選が有り重任新任の役員が決まりました。

2015年度役員一覧

会長

児玉正之(昭45・法) 重任

副会長(常任幹事会担当)

金屋憲二郎(昭45・商) 重任

副会長(無任所)

村口和夫(昭47・法) 重任

副会長(無任所)

魚谷雅彦(昭52・文) 重任

副会長(無任所)

河本宏子(昭54・文) 新任

代表幹事

北濃登美男(昭41・法) 重任

常任幹事

北濃登美男(昭41・法) 重任

早田重彦(昭41・経) 重任

片桐 陽(昭42・工) 重任

安井 亮(昭43・工) 重任

井上 護(昭43・工) 重任

並河和之(昭44・経) 重任

近藤義彦(昭44・経) 重任

横山 徹(昭46・工) 重任

谷村和典(昭47・文) 重任

阪口章夫(昭48・商) 重任

港 章(昭50・工) 重任

片岡豊司(昭50・経) 重任

安永昌代(昭56・経) 重任

稲垣雅子(昭45・商) 新任

支倉 清(昭48・法) 新任

高塚輝三(昭50・商) 新任

桐山輝夫(昭51・経) 新任

「新ビジネス」フォーラム シンポジウム報告

同志社大学東京産官学連携オフィス 初のイベントに125名が参加。

会場である東京オフィスのセミナー室には、壁際に椅子を並べるほどの大盛況。数か月前から東京産官学連携オフィスの皆さんが、ご自身の人脈やご紹介をたどり、お声掛けを続けてこられた、その成果がこの日に結実している。

交流会を含めてもわずか2時間のプログラムであったが、興味深いテーマの基調講演だったようで、交流会では教授の前行列ができていた。

理工学部の三木教授の「次世代のオフィス環境と知的照明システム」はすでに首都圏で世界初の実用化がなされており生産性を高める照明システムに期待が高まった。

生命医科学部の飛龍准教授は「生物に学ぶセンシング技術—コウモリの超音波利用の実態」を講演された。センシング機能を搭載したロボット「メビウス」を京都から持ち込んでくださり、その動きは会場をさらに盛り上げてくれた。

今後定期的な研究会やシ



大勢の方にご参加をいただき大盛況の会場

ンポジウムを開催していかれるとのことだ。  
文責/安永昌代(昭56年・経)

**IC・電子部品の調達から技術まで一括サポート致します!**

明光電子一社で全ての部品がそろい、技術サポート、製造、検査までのプロセスを「早く」「広く」「深く」をキーワードに実践できる、電子の統合サービスが明光電子の強みです。

早いレスポンス — 「情報」と「モノ」を素早く正確に提供  
 広いネットワーク — 業界に広く通じているから何でも揃う  
 深いサポート — 確かな信頼があるからこそできる協力体制

**明光電子 株式会社**  
 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-18-9 新横浜ICビル  
 FAX: 045-471-2377  
 E-mail: info@meicodenshi.com  
**045-471-2223**  
 明光電子 | 検索

代表取締役 **十川 正明**  
 (昭和48年 機械工学科卒業 合気道部)



# 校祖 新島襄ゆかりの地からレポート二題

## 新島襄終焉の地

新島襄先生終焉の地、  
碑前祭に参加して

去る1月23日、昨年もここ新島襄先生終焉の地にやって来ました。来年も再来年もきつとやって来る様な気がします。

今年も先生没後125周年の記念の年、昨年同様快晴の中、大谷総長・水谷理事長・中崎大磯町長ご臨席の下、碑前祭は肅々と執り行われました。

新島八重さんは「桜」、新島襄先生は「梅」が似合うとのことですが、今年も昨年同様碑庭園の梅ノ木に一輪の梅の花が開花、先生が皆さんの顔を見に



終焉の地碑前祭の大谷総長と野本理事長

来られたように思えました。

1890年1月23日午後2時20分、46歳11ヶ月でここ大磯・百足屋で永眠。国禁を破つて渡米、10年後帰国、帰国後15年目の事でした。その間に先生の偉業である同志社英学校が設立され、現在では14の学校に4万2千人の学生が学ぶ、世界に羽ばたく「同志社」に成長しています。

碑前祭の後、大磯駅近くの聖ステパノ学園海の見えるホールにて、大谷総長、中崎大磯町長の挨拶に続いて、学校法人同志社水谷理事長の講演会が開催されました。

講演では、新島襄先生が私立大学設立に拘った理由について解説がありました。

「国立大学は国に教育を委ねる事で政治家などを育てる事が主であり、私立大学は自分の手で育てる、だから丁寧であり優しいので有る。良心教育はそんな教育方針で育まれたので有る。」

「良心教育とは多様に解釈されているが、簡単に表現するならば、仰いで天に恥じず、伏して地に恥じず、ごまかささない、人

と人は信頼関係の中に有るべきで有る」・・・

この年になって再度同志社に学んで良かったと、誇りに思えるひと時でした。

文責／港 章(昭50年・工)

## 新島襄生誕の地

地元の後援で地域行事へ

2月12日10時45分、新島先生の生誕の地碑前祭が、今年も学士会館前で盛大に行われました。参加者は凡そ百名。

同行事は昨年から地元神田錦町三丁目町会が後援、今年さらに学士会館と千代田区観光協会が後援に加まりました。生誕の地碑前祭が東京の地域行事として発展していく道筋が見えてきました。

■新島七五三太の誕生日時

新島先生の父民治が残した「男子出生ニ付到来之品控」という記録があり、それに天保14年1月14日(陽暦2月12日)「巳ノ中刻午前10時から11時頃出生」と明記。東京校友会主催午餐会の都合で10時45分碑前祭スタートにしているわけではないのです。

■偉大な大先輩

神田錦町三丁目の前田会長は挨拶の中で新島先生を「偉大な地域の大先輩」と表現しました。千代田区観光協会も今年、生誕の地碑前祭の様子を地域行事としてホームページに写真入りで掲載。

今後、生誕の地碑前祭を地域行事として定着させていくためには、同志社創立者新島襄という側面だけでなく「江戸神田生まれの新島七五三(襄)」という側面をアピールする必要があります。

■フランス料理か幕の内か

ことは午餐会の案内状を例年より広範囲に配布。予約した部屋は定員84名。毎年事前申込をせず当日参加の方が4、5名あり、予定の部屋におさまるか、当日ふたを開けるまでハラハラどきどき。

フランス料理は並べる手間が大変。その代わり当日人数追加ができます。幕の内弁当は並べる手間はかかりませんが、当日追加不可。担当者として学士会館との打ち合わせが碑前祭直前ま



生誕の地碑前祭で献花する児玉会長

で続きました。

■錦三・七五三公園

新島先生生誕の地東側に千代田区立の小公園が誕生します。前田会長は、錦町三丁目と新島先生の幼名七五三太にちなんで「錦三・七五三公園」と命名するように猛烈に運動。おかげで七五三太公園がほぼ間違いない実現する見通し。

■小冊子「新島七五三太」

「錦三・七五三公園」の完成を記念して、新島先生の誕生から脱国までを紹介する小冊子を編集する予定。執筆・編集にご参加いただける方は、左記までご連絡ください。

(支倉090-11058-6243)

文責／支倉清(昭48年・法)

### 東京校友会に「女子部」が発足しました!

ビジネスパーソン×東京校友会II洛紫会に「女子部」が誕生。主宰者新垣さんから報告が届きました。

2月26日に東京・有楽町にて同志社東京女子部第1回懇親会を総勢22名で開催させて頂きました。関西からも3名

が来られ、大学時代以来の10年以上ぶりの再会!や、思わぬ共通点、新たな出会いがあり大変な盛り上がりでした。

参加者のお一人、西村真理子さん(92年経済卒 奈良県庁勤務)は県庁の仕事で横浜への出張後のご参加です。その日の



ミッションである「奈良ブランドレストランの白金出店」に大変な不安を感じておられましたが、女子部での交流を経て「強力な応援チームを感じ、勇気百倍、成功間違いなし!」とおっしゃっていました。

東京女子部発足のきっかけは昨年末の東京校友会洛紫会の新人歓迎会で「東京で女性の友人、相談出来る人が欲しい」との後輩からの声でした。

同志社大学では関東出身者は少数です。一方、就職で関東に来る人は多く、仕事も含め豊富な同志社人脈を関東でもっと活用してもらえないかと考えています。同志社の縁にて気軽に女性が懇親して頂ける場に、そして関東でさらに同志社の輪を拡げていければと思っております。ご参加は、Facebookグループ「同志社東京女子部」へ。

●メールのご連絡は  
imorisu@gmail.com  
(新垣ひとみ)まで。

文責/新垣ひとみ(平8年・商)

## 2015 春の集いテーマ Doshisha on my mind. 我が心の同志社

# 東京の同志社人 全員集合! 2015春の集い 5/24(日)

「2015春の集い」実行委員会の横山です。今年も桜の季節が終わり、いよいよ恒例のビッグイベント『春の集い』が近づいてまいりました。

校友の皆様、お申込みは済まされましたか? まだの方はいますぐの続きをお願い致します!

前98号でも紹介させて頂きましたが、今年のテーマは『Doshisha on my mind. (我が心の同志社)』です。

懐かしのキャンパスで学び、友と語りあった時間に感謝しつつ、再びここ東京の地で集い、深い絆を確かめませんか! さて当日は、初めての試みですが、会が始まる前に日常、ビジネスでご活躍の皆様による大名刺交換会を開催させて頂きます。この機会に、知人友人

を増やして、自己財産づくりをお願いします。

第一部は、来賓の皆様のご挨拶に続きまして村田学長に『同志社の今』についてお話しいただきます。

第二部の講演会では、同志社で学び現在大活躍の推理小説家有栖川有栖さんが「推理小説は何を描くか」というテーマで、そして幅広い分野でご活躍の作家中村うさぎさんには、「欲望という名の暴走車」というテーマで、大いにお二人に語ってもらいます。

また当日は、お二人による著書販売サイン会を開催します。

第三部懇親会では、同志社東京アンサンブルの皆様による演奏会も開催致します。

とにかく一年で最大の同志社校友の皆様によるお祭りです。大いに皆様とともに盛り上げ、楽しみましょう。

お申込みがまだの方! まだまだ間に合います! 今年の『春の集い』にご参加ください。実行委員会の推進委員一同、心よりお待ちしております。



有栖川有栖氏



中村うさぎ氏

ビジネスパーソンの皆様へ  
**名刺交換会 同時開催**  
詳しくは12ページをご参照ください

文責/横山徹(昭46・工)



# 訪 校 友 問 友

栗田千寿さん  
二等陸佐 / NATO事務総長  
特別代表アドバイザー  
平成9年・商学部卒



## 初のNATO本部への女性自衛官の派遣

昨年の12月1日から約2年間、同志社の校友の一人である栗田千寿二等陸佐がNATO（北大西洋条約機構）本部に派遣されることになりました。これは、安倍首相がNATO事務総長との会談で日本女性のNATO本部への派遣に合意したことによるもの。栗田さんの陸上自衛官としての、また女性としての輝かしいキャリアが評価されていることですが、今回は制服ではなく私服での活動になるという栗田さんに、内外から多くの期待が集まっています。

### 同志社の教育に感謝

今回のNATOへの派遣のこともあって様々な取材を受ける中、振り返ってみれば、「女性では初の」という形で取り上げていただくことも多かつたキャリアだな、と思います。そして、そういう女性の社会進出の最前線にいるという面と、同志社出身ということも併せて「新島八重の現代版」のようについてくださる方もいます。

でも、自分自身は「道なりにやってきました」、そしてその節々で「チャンスに恵まれてこうなった」というのがほんとうのところだろうなあ、と考えているのです。

実家は京都市の左京区で、母が同志社女子中で、高校の卒業生でしたので、自然に私もそうなるんだらうなあ、という形で同志社女子中・高校で学ぶことになったわけです。ですから、同志社の創始者の一人である新島八重さんのことは、昨今、大河ドラマなどで話題になる前から、その人柄や考え方についてはよく知っています。

今、私は、同志社の教育は素晴らしい、とはつきりと申し上げることができません。つまり、その自由闊達さ、何よりも男だから女だからということのない、それぞれの人間のやりたいことを存分に伸ばしてやろうという姿勢、それが今の私の生き方につながっていることはまちがいありません。感謝しています。

### 女性・平和・安全保障を

先日、NATOでの仕事の道を拓いていただいた安倍首相に赴任のご挨拶を申し上げ、励ましも受けましたが、そもそも今回の仕事は私が自衛官である、というところから始まっているものと思います。

では、さらにそもそもを遡って、なぜ私が女性は珍しいとされる自衛官を目指したのか、といえば、「ダメ虎」といわれても声援を送り続けるタイガースファンに似た心情だった（笑）、といえはわかっていただけるでしょうか。

私の子どものころの京都では、日の丸や君が代に反対する人たちがいて、子ども心にも不思議に感じていました。子ども

のころは自衛隊の存在は全く知りませんでした。高校生になってその存在を知るようになる、よく頑張っているのに、といった素朴なシンパシーを感じるようになりました。そのことを「阪神ファンのような」といつてみたわけです。

そうした素朴な思いが高校生になると「自衛官という仕事に就きたい」という明確な意識に変わりました。「日本のため」「国のため」に仕事をするということでは、政治家でも官僚でもいいではないか、という方もいますが、自衛隊には私なりに「いいね！」とする志望理由があつたのです。それは「階級」という明確な人間の位置づけです。これに関しては男も女も関係ない。努力と実力の反映。階級だということです。

そうして、同志社女子高から防衛大を受験したのですが、なんとも狭き門、不合格となり、同志社大の商学部に進むこととなりました。サークルは「会計学研究会」。税理士や会計士を目指して、という時間を持ったのですが、4回生になると、やはり再度自衛

隊へ、ということ。「一般幹部候補生試験」を受け、700名中約10名という難関を幸いにして突破できました。

その後は、陸上自衛隊幹部候補生学校でまさに「女も男もない」銃を担いでの厳しい訓練も経験しましたし、国連PKOの個人派遣にも抜擢され、東チモールの平和構築のために働いたことも忘れられません。

また、有難いことに二等陸佐への昇任は同期の中でも早い方でしたし、対空ミサイルの高射特科部隊中隊長として指揮もとりました。自衛隊観閲式で約300人の女性自衛官部隊の指揮官を務めたこともあります。

そして、今回は世界的に影響力のある大きな国際組織で、女性・平和・安全保障をテーマとした活動に専念するわけですが、特に紛争地域などでは、女性の社会的地位も低く性的暴力もひどいという認識があります。そうした問題の解決にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

\*

文責／谷村和典（昭47年・文）

# 同志社 スポーツ

昨年、歓喜にわいた者。屈辱を味わった者。各々の夢は次世代に託された。その夢をかかなえるべく同志社HEROESは目を覚ます。春一番の到来と共に、戦いの火ぶたは切つて落とされた。

昨年、エース・松岡(商卒)を擁し関西だけでなく全国の舞台でも輝きを放った日本拳法部。松岡が引退し、転換期となる今年。チーム改革が進むなか、虎視眈々と飛躍を目指す。同志社の黄金時代を——。勝負の1年が今始まる。



力強く技を繰り出す高橋新女子主将

「互いに無いものを持っていて補い合うことが出来るのでバランスが良いと思

たい」と福嶋。部の環境作りにも奔走し新星の登場に期待がかかる。両主将の抜群のコンビネーションも部の強みである。「互いに無いものを持っていて補い合うことが出来るのでバランス

昨年、一年の締めくくりである全日本学生選手権大会を男子はベスト8、女子は3位で終えた同志社日本拳法部。圧倒的実力で数々の金字塔を打ち立てた松岡(商卒)を始めとする4年生が今春卒業し、全くの新体制で新たなスタートを切った。「不安ももちろんあるが楽しみもある」(高橋新女子主将・商4)と部員たちの目はすでに先を見据えている。

チームの様相は180度変化した。昨年まで経験者主

導の練習を進めていたが、今年は互いに教え合い自ら考えていく方針へと転換。「様々な練習方法、時間配分などを試行錯誤している」と福嶋新男子主将(スポ4)。話し合いを重ね、フィードバックすることで、経験者頼りになりがちであった部の雰囲気は変わりつつある。

また同志社日本拳法部は大学から競技を始めた人も多い。「スポーツ推薦入学者が多い大学に勝てるような、初心者が強くなれる土壌をつくっていき



チームをけん引する福嶋新男子主将

う」(両主将)。福嶋、高橋ともに協力し合いながらチームを力強くけん引してくれるに違いない。

「勝つのは当たり前。去年と同じでは意味がないし、練習したことを吸収して次に繋げることが大事」(高橋)。部員たちにとって毎日の練習は必ずなにかに繋がっている。今年度の最終的な目標は男子が全国ベスト4、女子が全国制覇。決して容易な目標ではない。悲願達成に向けて——。部員たちはどんな欲な挑戦者として努力を重ね続ける。

文責/増谷萌(社会学部メディア学科3年)

**DHC** 通販化粧品・健康食品売上 **No.1**

価値ある品質を追求し続けるDHCは、最大量<sup>※2</sup>のグルコサミン<sup>※3</sup>1920mgと軟骨強化成分CBPを世界で初めて配合<sup>※4</sup>した「パワーグルコサミン」を開発。かつてない働きの間節系サプリを完成させました。これからもDHCは、日本最大級の健康食品企業として、健やかな毎日を応援いたします。

株式会社DHC  
〒106-8571 東京都港区南麻布2-7-1 代表取締役会長兼CEO 吉田嘉明(昭和40年 文学部英文科卒)

**史上最強のグルコサミン**

世界初 **CBP**を配合

※1 2014年1月1日 日本流通産業新聞 通販・通販・EC売上高ランキング  
※2 DHC史上 ※3 グルコサミン塩酸塩  
※4 関節対策を主とする処方

<http://www.dhc.co.jp>

# 「おたかさん」とわたし

## ～土井たか子さんを悼む～

元毎日放送キャスター 小林昌彦(昭34年・法)



在りし日の土井たか子さんと

氷雨降る昨秋11月25日の午後、衆議院解散直後の憲政記念館で、歴代の首相、衆議院議長らが出席して土井たか子さんのお別れの会が、しめやかに、そして盛大に開かれた。その日、私は前から大学同期生の旅行が予定されていたが、それを断り、会の末席に加えてもらった。

その後、一般のお別れ会にも残り、会場を退出した時にはすっかり夜の帳は下りていた。氷雨は降り続く。私はコートの手立て誰も通らない最高裁、国立劇場、英国大使館の前を独り涙を隠しながら歩いた。道端の濡れた桜の落ち葉が恨めしかった。この道は50年も前から桜花を愛でながら、土井さんら仲間と散策した思い出の道だ。

土井さん、あなたは同志社の輝く星だった。女性の地位が今ほどでもはやされぬ時から、あなたは存在感のある政治家で、初の大政党の党首となり、初の女性衆議院長にもなった。あなたと私の政治信条は必ずしも一致してはいなかったが、平和憲法を護ろうとする気持ちは私も負けてはいなかった。

58年前、私は東京の高校を卒業した。東大以外は大学ではないという、父の叱咤激励で、私は東大を目指すも3年浪人、失望しきつた私に、東京でも知られた憲法学者田畑忍教授がおられた同志社に入ること

を条件で、京都市を父は認めてくれた。法学部では田畑ゼミで講師だった土井多賀子さんと、現在の大谷総長とも一緒になった。人生は不思議である。就職せず大学院行きを

決めていた私は、一般公募の毎日放送をひやかに受けたが、三千人から四人合格の一人に入ってしまった。

MB Sではニュースを担当した。ラジオ「女性の広場」の番組のコメンテータの某女性作家が体調不良で降板、私に後任推薦の依頼があり、先輩の土井多賀子さんを推薦、即、採用された。土井さんはベテランアナウンサーの技術指導で政治批評も好評、各地の大学学園祭に招かれるようになった。そしてそれに目を付けた当時の社会党成田委員長が、早速、田畑教授に土井さん

を関西より衆議院選に出馬するよう口説きを依頼。「土井君、出なさい」という田畑先生の一声に、渋々ながら応じたのが政治家土井たか子の誕生の原点である。

あれからの長い付き合い、土井さんの凛として怖いような決意に満ちた顔、町のおばさんのような柔軟な顔、時には議員会館に電話して「小林です」と言う、即座に声を判断して「昌彦さん?」と言って、学生時代に戻ったあの「おたかさん」はもういない。同志社は大きな宝を失った。嗚呼!

私たちがJA全農は「生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋」となるべく奮闘しています。そんな中、同志社出身で東京在任の職員を中心として不定期に、同志社を主催しています。

### 企業内「同志社」紹介(第3弾) JA全農同志社会

2月17日は、①大田悠司さん(2011年法学部卒)の結婚祝い、②熊坂理沙さん(2013年経済学部卒)の大阪転勤の送別会、を兼ねて開催しました。なんと大田さんの奥様(旧姓堀内 雪菜さん)も2012年法学部卒で、現在某都市銀行に勤務する同志社人です!この日はスペシャルゲストとして登場してもらいました。

毎回違うお店で美酒に酔いながら、学生時代の所属サークル、学食のメニュー、下宿場所や校舎名など同志社人しかわからない会話が繰り広げられます。また、JA全農は職員数も多く、事業フィールドも多岐に渡るため、世代や職位、部門を超えた情報交

換の場としても非常に有意義です。翌日からまた各々のポジションで日本の農業に寄与するための隠れた起爆剤にもなっています。



- 出席者(写真左から順に)池田忠史1983年法学部卒/増川政弘1983年経済学部卒/熊坂理沙2013年経済学部卒/大田(堀内)雪菜2012年法学部卒/大田悠司2011年法学部卒/絹川登志雄1982年商学部卒/中井 雅浩2003年商学部卒/浜田章宏2014年商学部卒/塚原武1998年工学部卒/戸田裕基2011年社会学部卒
- 文責/戸田裕基(平23年・社)



春の集い  
「大名刺交換会」  
開催のお知らせ

「春の集い」に新たなプログラムが誕生します。

5月24日(日)ロイヤルパークホテルで開催の「春の集い」。今年はビジネスパーソンに嬉しい「大名刺交換会」を行います。

12時から会場ホワイエにコーナーを設置し名刺交換会場といたします。集い参加のビジネスパーソンであれば、どなたでも参加できます。

- 5月24日(日)12時〜12時45分
  - ロイヤルパークホテル3階
  - ロイヤルホールホワイエ
  - ① 受付をすませホワイエに。
  - ② ホワイエのパネルで囲まれた名刺交換会場に入る。
  - ③ 三々五々集まっているビジネスパーソンと名刺交換。
- どんな会社の誰と出会えるかは当日のお楽しみ。ゆつくりとお話したい人と出会ったら、懇親会でのテーブル番号を聞いて訪ねてみましょう。
- 文責／安永昌代(昭56年・経)

すみれ亭

昭和38年会俳句会

あの声は紛ふ方なくかの燕

坂部 清龍

東北大震災のあと、はるばる南方から帰国しても、巢を見つけれない不憫な燕が増えたという。掲句、そろそろ季節だと期待していた矢先、待望の鳴き声を

聞いた喜びに溢れている。「ツチクツッテ、ムシクツッテ、ジブーイ」と、日本古来の聞き做し。「紛ふ方なく」の一語で秀句となった。(評・あかぎ倦鳥)

同志社ファンを増やす会主催  
映像で学ぶ「同志社基礎講座」のご案内「キリスト教の基礎」3回

母校同志社を理解するには、どうしても「キリスト教」を理解せねばならないでしょう。しかし「キリスト教」を学ぶ機会も少なく、信頼できる先生に出くわすことも難しいのが現実です。幸い、同志社大

- 会場／同志社大学東京オフィス(中央区京橋二丁目)
- 受講無料(レジュメ代百円)
- 申込み／Eメール  
hsf02421@doshisha-u-net

が現実にあります。幸い、同志社大の講座をインターネットで公開しておられます。それを卒業生が同志社大学東京オフィスに集まり、視聴して学ぼうという企画です。ぜひ、この機会を逃がさずご参加下さい。

- 日時／①7月7日(火)／②7月14日(火)／③7月21日(火)
  - 各日共13時〜16時
- 文責／多田直彦(昭35年・文)

編集後記

今号で東京ジャーナルも99号を迎えました。巻頭の記事は定時総会・評議員会の模様をお知らせしています。交友訪問では、栗田千寿二

等陸佐に登場して頂きました。昨年12月1日から2年間の任期でNATO(北大西洋条約機構)本部に派遣されていますが、活躍を期待したい。小林昌彦氏からは、昨年の11月に逝去された元衆議院議長長土井たか子さんを悼む原稿を寄稿して頂きました。同志社スポーツは日本拳法部をアトム編集部の増谷萌さんに執筆願いました。

さて次号は100号を迎えますので、増ページで記念号にしたいとおもっています。皆様からの記念号に向けた寄稿を期待しています。東京ジャーナル89号から編集作業に多大なる貢献を頂いた、クリエンスの広谷夕士様には99号で最後となりますが、その功績に感謝し、心から御礼を申し上げます。文責／片桐陽(昭42年・工)

DOSHISHA TOKYO JOURNAL 2015.APR NO.99

同志社東京校友会  
電話 03-5579-9728  
FAX 03-5579-9729  
発行人 児玉正之  
編集人 片桐 陽  
デザイン デザインスタジオ クリエンス

http://www.doshisha-tokyo.alumni.jp

HP会員ページ ログイン情報 ID =doshisha PASS=1875

家族葬から社葬・お別れの会まで、  
信頼の葬祭ブランド「公益社」におまかせください。



まずはお電話を。公益社 葬儀相談センター(24時間・365日受付)

さよならのこころ  
0120-347-556

http://www.koekisha.co.jp

通話料無料・携帯電話可

首都圏ネットワーク(自社会館・営業所)

◆ 東京本社 (港区南青山1-1-1 新青山ビル西館14F)

- |    |              |                  |
|----|--------------|------------------|
| 会館 | ● 公益社 用賀会館   | ● 公益社 高円寺会館      |
|    | ● 公益社 明大前会館  | ● 公益社 仙川会館       |
|    | ● 公益社 田園調布会館 | ● 公益社 雪谷会館       |
|    | ● 公益社 高輪会館   | ● 公益社 社会館 たまプラーザ |

営業所  
■ 青山ご葬儀相談室 ■ 日吉営業所 ■ 鶴見営業所

※上記を中心に300ヶ所以上の葬儀場がご利用になれます。

対応地域  
首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)  
近畿圏(大阪・兵庫・奈良)

はりしまさのぶ  
播島 幹長 (昭和33年 経済学部卒業)

おがわよしひで  
小川 佳秀 (昭和50年 経済学部卒業)